

目 次

【共通基礎】	認証評価共通基礎データ	3
【表F-1】	理事長名、学長名等	8
【表F-2】	附属校及び併設校、附属機関の概要	9
【表F-3】	外部評価の実施概要	10
【表2-1】	学部、学科別在籍者数（過去5年間）	11
【表2-2】	研究科、専攻別在籍者数（過去3年間）	-
【表2-3】	学部、学科別退学者数及び留年者数の推移（過去3年間）	14
【表2-4】	就職相談室等の状況	15
【表2-5】	就職の状況（過去3年間）	16
【表2-6】	卒業後の進路先の状況（前年度実績）	17
【表2-7】	大学独自の奨学金給付・貸与状況（授業料免除制度）（前年度実績）	18
【表2-8】	学生の課外活動への支援状況（前年度実績）	19
【表2-9】	学生相談室、保健室等の状況	20
【表2-10】	附属施設の概要（図書館除く）	21
【表2-11】	図書館の開館状況	22
【表2-12】	情報センター等の状況	23
【表3-1】	授業科目の概要	24
【表3-2】	成績評価基準	30
【表3-3】	修得単位状況（前年度実績）	31
【表3-4】	年間履修登録単位数の上限と進級、卒業（修了）要件（単位数）	33
【表4-1】	学部、学科の開設授業科目における専兼比率	34
【表4-2】	職員数と職員構成（正職員・嘱託・パート・派遣別、男女別、年齢別）	35
【表5-1】	財務情報の公表（前年度実績）	36
【表5-2】	事業活動収支計算書関係比率（法人全体のもの）	37
【表5-3】	事業活動収支計算書関係比率（大学単独）	38
【表5-4】	貸借対照表関係比率（法人全体のもの）	39
【表5-5】	要積立額に対する金融資産の状況（法人全体のもの）（過去5年間）	40

◆認証評価共通基礎データ様式についての注意事項

- ① 「認証評価共通基礎データ」は、原則として受審年度の5月1日現在のデータとします。
本様式は、令和3年度申請用に作成していますので、令和3年5月1日が作成基準日となります。
- ② 本様式は様式1（組織・設備等）、様式2（学生）に分かれています。
それぞれについて確認あるいは作成してください。
- ③ 一部のデータは表中に値があれば、エクセル上で自動計算されます。
- ④ 各表において、該当がない場合は「-」（ハイフン）としてください。
- ⑤ 説明を付す必要があると思われるものについては、備考欄に記述してください。
- ⑥ 各表に該当しない欄や該当しない表がある場合でも、削除せず、全体に斜線を引くか、各セルに「-」（ハイフン）を記入するなどしてうめてください。

認証評価共通基礎データ様式【大学(専門職大学含む)用】様式1(令和3年5月1日現在)

事 項		記 入		備 考	
大 学 の 名 称		静岡英和学院大学			
学 校 本 部 の 所 在 地		静岡県静岡市駿河区池田1769番地			
教育研究組織	学士課程	学部・学科等の名称	開設年月日	所在地	備 考
		人間社会学部人間社会学科 人間社会学部コミュニティ福祉学科	2002年4月1日 2002年4月1日	静岡県静岡市駿河区池田1769番地 静岡県静岡市駿河区池田1769番地	平成23年4月1日に地域福祉学科から名称変更
	大学院課程	研究科・専攻等の名称	開設年月日	所在地	備 考
	専門職学位課程	研究科・専攻等の名称	開設年月日	所在地	備 考
別科等	別科・専攻科・附置研究所等の名称	開設年月日	所在地	備 考	
学生募集停止中の学部・研究科等		<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 学科(年度学生募集停止, 在学生数 人)			

施設・設備等	校地等	区 分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備 考	
		校舎敷地面積	—	0 m ²	10331 m ²	0 m ²	10331 m ²		
		運動場用地	—	0 m ²	3922 m ²	0 m ²	3922 m ²		
		校地面積計	9400 m ²	0 m ²	14253 m ²	0 m ²	14253 m ²		
		その他	—	0 m ²	13897 m ²	0 m ²	13897 m ²		
	校舎等	校舎面積計	区 分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
			校舎面積計	m ²	0 m ²	13168 m ²	1040 m ²	14208 m ²	
		教員研究室	学部・研究科等の名称	室 数					
			全学共通	34 室					
				室					
		教室等施設	区 分	講義室	演習室	実験演習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
				室	室	室	室	室	室
				室	室	室	室	室	室
				室	室	室	室	室	室
		図書館・図書資料等	図書館等の名称	面積	閲覧座席数				
	図書館		1702 m ²	186 席					
			m ²	席					
			m ²	席					
	図書館等の名称		図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち国外〕				
			[] 冊	[] 冊	[] 種				
	[] 冊		[] 冊	[] 種					
	[] 冊		[] 冊	[] 種					
計	0 [0] 冊		0 [0] 冊	0 [0] 種					
体育館	面積								
	体育館	1160.7 m ²							
	多目的運動場	3922 m ²							

[注]

- 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、別科・専攻科、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
- 2 教育研究組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の3の2）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」にそのことがわかるよう記載するとともに、備考欄に、①連携する学部や研究科、②どの学部や研究科から何名の教員が当該課程に所属しているか、を明記してください。
- 3 教育研究組織の欄に、専門職学科（大学設置基準第10章）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」や「備考欄」にそのことがわかるよう記載してください。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、「別科・専攻科等」の欄に記載してください。
- 5 所在地について、2以上の校地において行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「〇〇キャンパス」と記載してください。
- 6 教員組織の欄には、教育研究組織の欄で記載した組織単位で専任教員等及び非常勤教員の数を記入してください。その際、専門職学科等を設置していない場合は「学士課程」、専門職学科等を設置している場合は「学士課程（専門職学科等含む）」の欄を使用してください。
- 7 上記4に記載した、学部教育を担当する独立の組織がある場合には、組織名は、「学部・学科等の名称」の欄に「その他の組織等（〇〇）」と記載し、専任教員等及び非常勤教員の数を記載してください。
なお、その場合は、「基準数（及び「教授数）」及び「専任教員一人あたりの在籍学生数」の欄は「—」としてください。
- 8 教員組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の3の2）に関する記載をする際には、「学士課程」または「学士課程（専門職学科等含む）」の「備考」欄に学部等連携課程としての専任教員数や所属組織等を記入してください。
- 9 専任教員数の記入に際しては、休職、サバティカル制度等により一時的に大学を離れている場合も専任教員に算入してください。
ただし、大学設置基準第11条における「授業を担当しない教員」は含めないでください。
- 10 「非常勤教員」の欄には、客員教員や特任教員等で専任の教員は含みません。
- 11 他の学部・学科等に所属する専任の教員であって、当該学部・学科等の授業科目を担当する教員（兼任）は、「非常勤教員」の欄には含めないでください。また、「専任教員等」の各欄にも含めないでください。
- 12 専任教員、研究指導教員及び研究指導補助教員の基準数については、それぞれ以下に定める教員数を記載してください。
 - ・大学設置基準第13条別表第一及び別表第二（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学通信教育設置基準第9条別表第一（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学院設置基準第9条の規定に基づく「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示第175号）別表第一、別表第二及び別表第三（備考に規定する事項を含む。）
 - ・「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第1条及び第2条
- 13 「うち実務家専任教員数」「うちみなし専任教員数」の欄については、大学設置基準第42条の6、並びに「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第2条に定める実務の経験及び高度の実務の能力を有する専任教員（実務家専任教員）、及び学士課程（専門職学科等）においては、1年につき6単位以上、専門職学位課程においては1年につき4単位以上の授業科目を担当し、教育課程の編成その他組織の運営に責任を担う専任教員以外の者（みなし専任教員）の教員数を記入してください。
- 14 「学士課程（専門職学科等含む）」のうち、「〇〇学部〇〇専門職学科」以外の学部・課程においては、「うち実務家教員数」、「うち2項該当数」、「うちみなし専任教員数」の欄は「—」としてください。
- 15 「学士課程」または「学士課程（専門職学科等）」のうち、薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部・学科等については、「専任教員等」欄に記入した専任教員のうちの実務家教員の数を「備考欄」に記入してください。
実務家教員中にみなし専任教員がいる場合は、さらにその内数を実務家教員の数に（ ）で添えて記入してください。
なお、ここにいる「実務家教員」及び「みなし専任教員」については、それぞれ「大学設置基準別表第一備考第九号の規定に基づき薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部に係る専任教員について定める件」（平成16年文部科学省告示第175号）第1項及び同第2項に定める教員を指します。
- 16 「専任教員1人あたりの在籍学生数」の欄には、様式2の在籍学生数/本表の専任教員数計により、算出してください。
- 17 「校舎敷地面積」、「運動場用地」の欄は、大学設置基準上算入できるものを含めてください。
- 18 寄宿舎その他大学の附属病院以外の附属施設（大学設置基準第39条第1項を参照）用地、附置研究所用地、駐車場、大学生協用地など大学設置基準上「校地」に算入できない面積は「校地等」の「その他」の欄に記入してください。
- 19 「校舎面積計」の欄は、学校基本調査の学校施設調査票（様式第20号）における学校建物の用途別面積の「校舎」の面積の合計としてください。
- 20 校地面積、校舎面積の「専用」の欄には、当該大学が専用で使用する面積を記入してください。「共用」の欄には、当該大学が他の学校等と共用する面積を記入してください。「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該大学の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を記入してください。
- 21 「基準面積」の欄は、大学設置基準第37条における「大学における校地」の面積（附属病院以外の附属施設用地及び寄宿舎の面積を除く。）または大学通信教育設置基準第10条の校舎等の施設の面積としてください。
- 22 「教員研究室」の欄は、専任教員数に算入していない教員の実験室は記入する必要はありません。なお、複数の助教等が共同して1室で執務する場合は、教員数を室数に換算してください。

認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2(令和3年5月1日現在)

学部名	学科名	項目	2017年 平成29年度	2018年 平成30年度	2019年 平成31年度	2020年 令和2年度	2021年 令和3年度	入学定員に対する平均比率	備考
人間社会学部	人間社会学科	志願者数	175	185	346				2020年度から、 学部くり募集のため 人間社会学部での集計 平均率は2019年度まで
		合格者数	168	173	291				
		入学者数	126	121	221				
		入学定員	130	130	130			120%	
		入学定員充足率	97%	93%	170%				
		在籍学生数							
		収容定員							
	収容定員充足率								
	コミュニティ学科	志願者数	61	58	56			平均率は2019年度まで	
		合格者数	60	56	53				
		入学者数	40	47	44				
		入学定員	120	120	80				128%
		入学定員充足率	33%	39%	55%				
		在籍学生数							
収容定員									
収容定員充足率									
学部合計		志願者数	236	250	210	481	379	99%	合計部分の数式を確定する際は Shift+Ctrl+Enterで確定すること。 配列数式になっています。
		合格者数	228			379	348		
		入学者数	166			266	228		
		入学定員	250	250	210	210	210		
		入学定員充足率	66%	67%	126%	127%	109%		
		在籍学生数	644	648	738	845	911		
		収容定員	860	860	860	860	860		
		収容定員充足率	75%	75%	86%	98%	106%		

<編入学>

学部名	学科名	項目	2017年 平成29年度	2018年 平成30年度	2019年 平成31年度	2020年 令和2年度	2021年 令和3年度	備考
人間社会学部	人間社会学科	入学者数(2年次)	/	/	/	/	/	
		入学定員(2年次)	/	/	/	/	/	
		入学者数(3年次)	4	13	14	15	25	
		入学定員(3年次)	10	10	10	10	10	
	コミュニティ学科	入学者数(4年次)	/	/	/	/	/	
		入学定員(4年次)	/	/	/	/	/	
		入学者数(2年次)	/	/	/	/	/	
		入学定員(2年次)	/	/	/	/	/	
		入学者数(3年次)	1	1	3	1	1	
		入学定員(3年次)	0	0	0	0	0	
学部合計		入学者数(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(3年次)	5	14	17	16	26	
		入学定員(3年次)	20	20	20	20	20	
		入学者数(4年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(4年次)	0	0	0	0	0	

[注]

- 1 学生を募集している学部・学科（課程）、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
- 2 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 3 学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
- 4 学部・学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
- 5 募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
- 6 入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
- 7 入学定員に対する平均比率は、過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
- 8 最新年度の秋入学については別途確認します。
- 9 編入学の定員を設定している場合、上の表（<編入学>の表ではない方）の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。

表F-1

理事長名、学長名等

理事長名	石井 博文		学長名	柴田 敏
学部長名	人間社会学部長	波多野 純		
研究科長名				
大学 事務局長名	松澤 重喜			

- ① 学部長、研究科長はすべての学部、研究科において記載すること。
- ② 大学事務局長の欄には、大学事務局長又は相当者を記載すること。

表F-2

附属校及び併設校、附属機関の概要

名 称	開設年月日	所 在 地	機関の長
静岡英和学院大学短期大学部	昭和41年4月16日	〒422-8545 静岡県静岡市駿河区池田1769番地	学長 柴田 敏
静岡英和女学院高等学校	昭和23年4月1日	〒420-0866 静岡県静岡市葵区西草深町8番1号	校長 大橋 邦一
静岡英和女学院中学校	昭和22年4月1日	〒420-0866 静岡県静岡市葵区西草深町8番1号	校長 大橋 邦一
		〒	
		〒	
		〒	

- ① 同一法人内の附属校（幼稚園、小・中学校、高等学校、短期大学等）及び併設校がある場合はすべて記載すること。
- ② 附属機関（附属病院、附属研究所、博物館等）がある場合はすべて記載すること。ただし、図書館は除くこと。

表F-3

外部評価の実施概要

評価機関名	評価時期(年 月)	機関別・プログラム別	備考
日本高等教育評価機構	平成23年3月	認証評価	
〃	平成30年3月	認証評価	

- ① 認証評価を含め、JABEE（日本技術者教育認定機構）、ISO（環境、情報セキュリティー等）、その他第三者評価等の外部評価を受けた実績がある場合はすべて記載すること。
- ② 評価時期には、評価結果を受け取った時期を記載すること。また、進行中の場合も記載し、その旨を備考に記載すること。

表2-1

学部、学科別在籍者数（過去5年間）

学部	学科	平成29年度				平成30年度				平成31年度			
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)
人間社会学部	人間社会学科	398	77	0	0	440	101	0	1	550	144	1	0
	コミュニティ福祉学科	246	3	1	0	208	5	1	0	188	8	1	0
人間社会学部合計		644	80	1	0	648	106	1	1	738	152	2	0

【学部合計】

人間社会学部合計	644	80	1	0	648	106	1	1	738	152	2	0
総合計	644	80	1	0	648	106	1	1	738	152	2	0

* 次ページあり

学部	学科	令和2年度				令和3年度				備考
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	
		266	50	0	0	228	49	0	0	
人間社会学部	人間社会学科	450	122	0	0	553	143	1	0	
	コミュニティ福祉学科	129	5	1	0	130	6	0	0	
人間社会学部合計		845	177	1	0	911	198	1	0	

【学部合計】

人間社会学部合計	845	177	1	0	911	198	1	0	
総合計	845	177	1	0	911	198	1	0	

- ① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。
 ② 社会人及び帰国生徒は入試形態による、留学生は在留資格「留学」を持つ外国人学生をいう。科目等履修生等は含めないこと。

表2-2

研究科、専攻別在籍者数（過去3年間）

修士課程

研究科	専攻	令和1年度			令和2年度			令和3年度		
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)
〇〇研究科	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
〇〇研究科合計										
〇〇研究科	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
〇〇研究科合計										

博士課程

研究科	専攻	令和1年度			令和2年度			令和3年度		
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)
〇〇研究科	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
〇〇研究科合計										
〇〇研究科	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
	〇〇専攻									
〇〇研究科合計										

① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。

② 社会人は入試形態による、留学生は在留資格「留学」を持つ外国人学生をいう。研究生、科目等履修生等は含めないこと。

表2-3

学部、学科別退学者数及び留年者数の推移（過去3年間）

【退学者】

学部	学科	平成30年度					平成31年度					令和2年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
人間社会学部												8				8
	人間社会学科	9	6	5	4	24	20	9	7	1	37		12	3	4	19
	コミュニティ福祉学科	2	2	3	4	11	0	6	1	5	12		2	1	2	5
人間社会学部計		11	8	8	8	35	20	15	8	6	49	8	14	4	6	32
合 計		11	8	8	8	35	20	15	8	6	49	8	14	4	6	32

① 退学者数には、除籍者も含めること。

② 医、歯、薬、獣医学部（あるいは獣医（関係）学科をもつ学部）の場合には、6年次まで作成すること。

③ 毎年度3月31日現在の退学者数を記載すること。

【留年者】

学部	学科	平成30年度					平成31年度					令和2年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
人間社会学部	人間社会学科				8	8				14	14				11	11
	コミュニティ福祉学科				4	4				6	6				7	7
人間社会学部計		0	0	0	12	12	0	0	0	20	20	0	0	0	18	18
合 計		0	0	0	12	12	0	0	0	20	20	0	0	0	18	18

① 留年者には、休学や留学によって進級が遅れた者は含めないこと（進級要件を設定していない大学で、2年次に留学もしくは休学した学生が、4年で卒業できず、留年となった場合は2年次、4年次のいずれの留年者数にも含めないこと）。

② 毎年度3月31日現在、留年が確定した学生の数を記載すること。

表2-4

就職相談室等の状況

名称	スタッフ数	開室日数 週当たり	開室時間	備考
キャリア支援課	3	6	8:35 ~ 18:00	職員

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのこの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② スタッフの種類（教員、職員等）を備考欄に記載すること。
- ③ 週当たりの開室日数については学期中の週当たりの実際開室日数を記載すること。
- ④ 開室時間については学期中の平日における開室時間を記載すること。

表2-5

就職の状況（過去3年間）

【学部】

学部	学科	平成30年度					令和元年度					令和2年度				
		卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
人間 社会学部	人間社会 学学科	102	81	81	100%	—	79	57	56	98.2%	—	117	92	84	91.3%	—
	社会学科 福祉学科	54	50	50	100%	—	49	46	46	100%	—	37	34	32	94.1%	—
人間社会学部計		156	131	131	100%	988	128	103	102	99.0%	855	154	126	116	92.1%	569
合 計		156	131	131	100%	988	128	103	102	99.0%	855	154	126	116	92.1%	569

【研究科】

研究科	専攻	平成30年度					令和元年度					令和2年度				
		修了者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	修了者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	修了者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
〇〇研究科	〇〇専攻															
修士課程	〇〇専攻															
〇〇研究科	〇〇専攻															
博士課程	〇〇専攻															
〇〇研究科計																
〇〇研究科	〇〇専攻															
修士課程	〇〇専攻															
〇〇研究科	〇〇専攻															
博士課程	〇〇専攻															
〇〇研究科計																
合 計																

① 就職率は就職希望者に対し、実際に就職した就職者の割合を記載すること。

② 学部、研究科について記載すること（通信教育は記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。

表2-6

卒業後の進路先の状況（前年度実績）

		人間社会学部		学部		研究科（修士課程）		研究科（博士課程）		研究科（修士課程）		研究科（博士課程）	
		人数(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
就職	農業、林業	1	0.6%										
	漁業	0	0.0%										
	鉱業、採石業、 砂利採取業	0	0.0%										
	建設業	1	0.6%										
	製造業	14	9.1%										
	電気・ガス・ 熱供給・水道業	0	0.0%										
	情報通信業	3	1.9%										
	運輸業、郵便業	5	3.2%										
	卸売・小売業	27	17.5%										
	金融・保険業	11	7.1%										
	不動産業、 物品賃貸業	1	0.6%										
	学術研究、専門・技 術サービス業	3	1.9%										
	宿泊業、 飲食サービス業	5	3.2%										
	生活関連サービス 業、娯楽業	6	3.9%										
	教育、学習支援業	11	7.1%										
	医療、福祉	19	12.3%										
	複合サービス事業	2	1.3%										
	その他サービス業	4	2.6%										
	公務	3	1.9%										
	上記以外	0	0.0%										
就職者合計		116	75.3%										
進学	他の大学	0	0.0%										
	他の高等教育機関	2	1.3%										
	自大学院	0	0.0%										
	他大学院	0	0.0%										
進学者合計		2	1.3%										
その他	無業者・未定者	36	23.4%										
卒業者・修了者合計		154	100.0%										

- ① 「人数」欄は、学部、研究科ごとの進路先への人数を記載すること。
- ② 各学部、研究科の卒業生、修了者の合計に対する各進路先の人数をパーセンテージで算出し、記載すること。
- ③ 就職の項目にある「上記以外」の例：NGO団体、国際機関など。
- ④ 就職しつつ進学した場合は、先に決定したほうに記載すること。
- ⑤ 学部、研究科について記載すること（通信教育は記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。

表2-7

大学独自の奨学金給付・貸与状況（授業料免除制度）（前年度実績）

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (a)	在籍学生総数 (b)	在籍学生総数に対する比率 $a/b*100$	月額支給総額 (c)	1件あたりの月額支給額 c/a	備考 (授業料免除制度がある場合は、その基準を記載すること。)
静岡英和学院大学奨学金	学内	給付	12	808	1.5	155,000.0	12,916.7	GPA2.5以上の者の中から応募者を募り、経済状況等を考慮し選考
静岡英和学院大学私費外国人留学生学費等減免	学内	給付	160	177	90.4	3,840,000.0	24,000.0	仕送りが90,000円以下 奨学金の支給月額が100,000円以下 在日扶養者の年収が5,000,000円未満 前年度の学費等が完納している 外国人入学試験・編入学試験の成績が優秀な者 前年度の標準修得単位数の8割取得かつGPA1.0以上

- ① 前年度実績をもとに記載すること。
- ② 在籍学生総数は前年度全体の学生数で、卒業生を含んだ人数（3月31日現在）を記載すること。
- ③ 奨学金の名称の欄は、種類別等のタイトルごとにまとめて記載すること。
- ④ 学部学生、大学院学生、新入生、留学生等に限定した奨学金等については、「在籍学生総数」欄には学部学生、大学院学生、新入生、留学生等の総数のみ記載すること。
- ⑤ 留学生や特別な支援が必要な学生に対する奨学金、授業料免除等がある場合は、記載すること。
- ⑥ 授業料免除制度がある場合は、その基準を備考に記載すること。
- ⑦ 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象など、大きな区分で記載すること。
- ⑧ 年次支給の場合も、月額支給額を算出して記載すること。
- ⑨ 一つの奨学金等に複数の種類や実施方法がある場合、種類や方法別にすべて記載すること。

表2-8

学生の課外活動への支援状況（前年度実績）

	活動資金支援			その他（資金支援以外の支援策等）	
	件数	金額	1件あたりの金額	件数	支援の方法を具体的に記載
サークル活動(総数・総額)	29	5,672,611	195,607.3		
内訳)					
クラブ費交付	2	25,946	12,973.0		
サークル活動補助(大会参加等)	4	137,585	34,396.3		
サークル運営補助(コピー用紙等)	3	45,211	15,070.3		
文化祭費用一式	12	922,423	76,868.6		
卒業生支援	8	4,541,446	567,680.8		

表2-9

学生相談室、保健室等の状況

名称	スタッフ数	開室日数 週当たり	開室時間	備考
保健室	1	5	9:00~16:45	看護師
学生相談室	1	3	11:00~13:00、13:30~15:30	公認心理師・臨床心理士

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのこの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄に記載すること。
- ③ 週当たりの開室日数については学期中の週当たりの実際開室日数を記載すること。
- ④ 開室時間については学期中の平日における開館時間を記載すること。

表2-10

附属施設の概要（図書館除く）

名称	面積の合計 (㎡)	専用・共用 の別	収容人員（総数） 該当する場合のみ記載	開館時間等 該当する場合のみ記載	スタッフ数 該当する場合のみ記載	主な用途
体育館	1160.7	共用	—	8:35～20:30(平日)	—	
多目的運動場	3922	共用	—	8:35～20:30(平日)	—	テニス3面又はフットサル2面

① 大学設置基準第39条に基づき、学部・学科の教育研究に必要な施設を記入すること。

表2-11

図書館の開館状況

図書館の名称	スタッフ数	開館日数 週当たり	開館時間	備考
図書館	3	6	8:45 ~ 17:55	職員(図書館長を除く)

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのこの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② スタッフの種類（教員、職員等）を備考欄に記載すること。
- ③ 週当たりの開館日数については学期中の週当たりの実際開館日数を記載すること。
- ④ 開館時間については学期中の平日における開館時間を記載すること。

表2-12

情報センター等の状況

情報センター等の名称	座席数	コンピュータ 台数	開館時間等	開館日数 週当たり	スタッフ数 該当する場合のみ記載
W205コンピュータルーム	28	28	8:50~17:40	5	無

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのおのの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② コンピュータ台数については学生が利用可能な状態にある情報教育用のコンピュータの台数について記載すること。
サーバ用途のコンピュータや倉庫に保管されているなどの遊休状態のものは含めない。
- ③ 週当たりの開館日数については学期中の週当たりの実際開館日数を記載すること。
- ④ 開館時間については学期中の平日における開館時間を記載すること。

表3-2
成績評価基準

学部

点数区分	評価の表示方法(a)	合否
100 ～ 90点	S	合格
89 ～ 80点	A	
79 ～ 70点	B	
69 ～ 60点	C	
59 ～ 0点	F	不合格
出席不良で不可	F	
期間内に履修辞退の手続きを取らないと不可	F	

- ① 評価の表示方法で「S」または、「秀」がない場合は省略すること。
- ② 評価の表示方法(a)または(b)が該当しない場合は省略すること。
- ③ 上に示した表が大学の実態に当てはまらない場合は、大学の実態に合わせた独自の表を作成すること。

表3-3

修得単位状況（前年度実績）

【1年次】

学 部	学 科	令和3年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
人間 社会 学部		256	1	0.4%	14	5.5%	19	7.4%	33	12.9%	165	64.5%	24	9.4%	0	0.0%
合計		256	1	0.4%	14	5.5%	19	7.4%	33	12.9%	165	64.5%	24	9.4%	0	0.0%

【2年次】

学 部	学 科	令和3年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
人間 社会 学部	人間社会 学科	187	1	0.5%	8	4.3%	20	10.7%	39	20.9%	107	57.2%	10	5.3%	2	1.1%
	コミュニ ティ福祉 学科	41	1	2.4%	1	2.4%	0	0.0%	3	7.3%	15	36.6%	21	51.2%	0	0.0%
合計		228	2	0.9%	9	3.9%	20	8.8%	42	18.4%	122	53.5%	31	13.6%	2	0.9%

休学者数：人間社会学科 1名、コミュニティ福祉学科 1名

*次ページあり

【3年次】

学 部	学 科	令和3年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
人間社会学部	人間社会学科	113	0	0.0%	4	3.5%	4	3.5%	17	15.0%	55	48.7%	13	11.5%	20	17.7%
	コミュニティ福祉学科	39	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	6	15.4%	16	41.0%	12	30.8%	2	5.1%
合計		152	0	0.0%	4	2.6%	7	4.6%	23	15.1%	71	46.7%	25	16.4%	22	14.5%

【4年次】

学 部	学 科	令和3年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
人間社会学部	人間社会学科	121	3	2.5%	7	5.8%	39	32.2%	44	36.4%	20	16.5%	7	5.8%	1	0.8%
	コミュニティ福祉学科	40	0	0.0%	3	7.5%	18	45.0%	9	22.5%	6	15.0%	3	7.5%	1	2.5%
合計		161	3	1.9%	10	6.2%	57	35.4%	53	32.9%	26	16.1%	10	6.2%	2	1.2%

休学者数：人間社会学科 1名、コミュニティ福祉学科 0名
 留年者数：人間社会学科 6名、コミュニティ福祉学科 4名

- ① 卒業年次学生については、実際の卒業（離籍）日時点における数値とする。
- ② 在籍者数には休学者及び留年者を含み、その内訳を欄外に記載することとする。ただし、当該年度中の退学者は含めない。
- ③ 教職などの卒業要件に関係しない単位についてもカウントすること。
- ④ 改組等により学部・学科の名称等を変更した場合は、新旧の学部・学科名をすべて記載し、その旨を欄外に記載すること。
- ⑤ 累計ではなく、単年度の修得単位数を記載すること。
- ⑥ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替えて記載すること。
- ⑦ 医、歯、薬、獣医学系あるいは獣医（関係）学科をもつ学部の場合は、6年次まで表を作成し、記載すること。

表3-4

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業（修了）要件（単位数）

	学部・学科 年次	人間社会学部	人間社会学部
			人間社会学科
年間履修登録単位数の上限	1年次	44	—
	2年次	—	38
	3年次	—	38
	4年次	—	46
進級の要件(単位数)	1年次	—	—
	2年次	—	—
	3年次	—	—
卒業の要件(単位数)		—	124

	学部・学科 年次	人間社会学部	人間社会学部
			コミュニティ福祉学科
年間履修登録単位数の上限	1年次	44	—
	2.5以上	—	48
	1.5以上2.5未満	—	44
	1.5未満	—	40
進級の要件(単位数)	1年次	—	—
	2年次	—	—
	3年次	—	—
卒業の要件(単位数)		—	124

- ① 医、歯、薬、獣医学系あるいは獣医（関係）学科をもつ学部の場合には、年間履修登録単位数の上限を6年次まで、進級の要件
- ② 単位数以外の進級要件がある場合には、その旨を欄外に記載すること。
- ③ 上に示した表が大学の実態に当てはまらない場合は、大学の実態に合わせた独自の表を作成すること。
- ④ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて

表4-1

学部、学科の開設授業科目における専兼比率

学部・学科			必修科目	全開設授業科目	
人間社会学部	人間社会学科	専門教育	専任担当科目数(a)	12	92
			兼任担当科目数(b)	0	22
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	100.00%	80.70%
		教養教育	専任担当科目数(a)	1.8	14.64
			兼任担当科目数(b)	2.2	44.36
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	45.00%	24.81%
	コミュニティ福祉学科	専門教育	専任担当科目数(a)	13	110.4
			兼任担当科目数(b)	0	36.6
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	100.00%	75.10%
		教養教育	専任担当科目数(a)	1.88	15.39
			兼任担当科目数(b)	1.12	43.61
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	62.67%	26.08%

- ① 学部のみを記載すること。
- ② 実働している科目数のみを記載すること。卒業要件の可否は問わない。募集停止している学部、学科も、学生が在籍している場合は記載すること。
- ③ 「専任担当科目数」欄は、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めること。
- ④ 「専門教育」欄及び「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を記載すること。
- ⑤ セメスター制などを採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合は、学期ごとに作表すること。
- ⑥ 複数の学部、学科等にまたがる場合は、共通の欄を新たに設けて記載すること。
- ⑦ 同一科目を週複数回実施している場合、同一教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、兼任教員が担当する場合は、兼任担当科目数が1となる。
複数教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当する場合は、専任担当科目数が0.5、兼任担当科目数が0.5となる。(例：一科目で4クラスに分かれ、兼任が2クラス、専任が2クラス担当する場合、専任0.5、兼任0.5)
- ⑧ 実験、実習等一つの科目を兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること。(例：専任4人、兼任1人で担当の場合、専任0.8、兼任0.2)
- ⑨ 小数点以下の端数について、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記載すること。
- ⑩ 大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、実情に応じて記載すること。

表4-2

職員数と職員構成（正職員・嘱託・パート・派遣別、男女別、年齢別）

	正職員	嘱託	パート (アルバイト も含む)	派遣	合計
人数	20	3	0	8	31
%	64.5%	9.7%	0.0%	25.8%	100.0%

	正職員						
	男	うち 管理職	女	うち 管理職	男女 正職員 合計	管理職 合計	正職員合計 に対する 年齢別の割合 (%)
20歳代	3	0	1	0	4	0	20.0%
30歳代	2	0	0	0	2	0	10.0%
40歳代	1	0	5	0	6	0	30.0%
50歳代	1	1	4	0	5	1	25.0%
60歳代	3	3	0	0	3	3	15.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	10	4	10	0	20	4	100.0%

定年	65歳
役職定年	歳
選択定年	歳

「管理職の定義欄」（記述） 課長以上

- ① 役職定年及び選択定年がある場合は記載すること。
- ② 管理職の定義を「管理職の定義欄」に記載すること。
- ③ パートの欄には臨時職員等も含めて記載し、欄外にその旨を記載すること。
- ④ 派遣には紹介予定派遣者を含めて記載すること。
- ⑤ 附属施設の医療系の職員は、別表を作成すること。ただし、大学職員としてカウントしている場合は、含めて記載すること。
- ⑥ 法人本部を設置している場合、法人本部の職員として発令されている者であっても大学等の業務を行っている場合は、その職員数を含めて算出し、欄外にその旨を記載すること。

表5-1

財務情報の公表（前年度実績）

【閲覧の方法】

閲覧の方法 （自由筆記）	本学院の財務書類等閲覧規程に基づいて開示請求に応じている。なお、規程にかかわらず直近の計算書類については学院ホームページにおいて常時閲覧可能としている。
-----------------	--

【その他の開示方法】

自己点検・ 評価報告書			学内広報誌			大学機関紙			財務状況に 関する報告書			学内LAN			ホームページ （ウェブサイト 等）			その他 （一般向けの 経済紙等）			開示請求があれ ば対応する		
資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借
															○	○	○				○	○	○

- ① 財務情報の閲覧の方法を自由筆記すること。
- ② **【その他の開示方法】**について、あてはまる部分に○印を記載すること。
- ③ 受審前々年度決算の資金収支計算書（資金）・事業活動収支計算書（事業）・貸借対照表（貸借）について、受審前年度に公表したものをすべて記載すること。

表5-2

事業活動収支計算書関係比率（法人全体のもの）

	比 率	計算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備 考
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	59.0%	64.6%	56.8%	61.2%	54.4%	
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	83.6%	91.7%	84.6%	82.4%	72.6%	
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	27.4%	28.4%	27.2%	27.9%	30.5%	
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.8%	7.3%	5.0%	5.0%	5.1%	
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	2.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	4.9%	-1.0%	10.1%	3.8%	9.8%	
7	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	104.7%	125.7%	96.8%	99.3%	94.1%	
8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	70.6%	70.4%	67.2%	74.3%	75.0%	
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	2.1%	1.4%	5.5%	1.4%	1.4%	
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.6%	0.4%	4.9%	0.4%	0.4%	
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	22.4%	20.5%	19.9%	18.7%	20.2%	
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	22.6%	20.8%	20.4%	18.9%	20.2%	
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	9.1%	19.7%	7.1%	3.1%	4.1%	
12	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	12.2%	11.7%	11.9%	11.1%	10.6%	
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	4.6%	-0.8%	10.7%	5.6%	9.9%	
14	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	5.5%	-0.6%	10.5%	5.7%	9.9%	

- ① 平成28年度からの「学校法人会計基準」に基づく事業活動収支計算書を用いて、表に示された計算式により、比率を記載すること。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、表5-2のみを作成し、表5-3には記載しないこと。
 ただし、医・歯学部などで附属病院を併設している場合には、表5-3も作成すること。

表5-3

事業活動収支計算書関係比率（大学単独）

	比 率	計算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備 考
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	62.8%	65.3%	62.0%	58.6%	48.1%	
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	75.5%	79.0%	79.9%	68.0%	55.9%	
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	30.2%	30.6%	29.1%	28.8%	31.8%	
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.2%	8.2%	5.1%	4.7%	4.4%	
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	3.7%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-4.8%	-1.4%	2.9%	5.8%	15.3%	
7	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	130.3%	146.3%	105.9%	97.5%	88.5%	
8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	83.2%	82.6%	77.6%	86.2%	86.0%	
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.1%	0.6%	6.4%	0.7%	0.8%	
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.7%	0.3%	6.1%	0.3%	0.4%	
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	12.1%	9.7%	8.0%	6.1%	10.9%	
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	12.1%	9.7%	8.1%	6.1%	10.6%	
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	19.6%	30.7%	8.2%	3.4%	4.3%	
12	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.5%	12.0%	11.5%	10.8%	10.1%	
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-3.9%	-0.6%	3.7%	7.8%	15.6%	
14	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-0.4%	-0.3%	3.7%	7.9%	15.6%	

① 平成28年度からの「学校法人会計基準」に基づく事業活動収支計算書を用いて、表に示された計算式により、比率を記載すること。

② 大学単独のものを記載すること（医、歯系学部を有する大学の場合、附属病院などを除外すること）。

表5-4

貸借対照表関係比率（法人全体のもの）

	比率	計算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	91.2%	88.6%	86.5%	85.4%	86.1%	
2	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	82.6%	80.2%	76.4%	73.1%	71.0%	
3	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	8.0%	8.0%	9.7%	12.0%	15.0%	
4	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	8.8%	11.4%	13.5%	14.6%	13.9%	
5	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	12.5%	11.6%	10.5%	10.2%	9.4%	
6	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	5.7%	6.7%	6.8%	7.6%	6.3%	
7	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$	-2.3%	-0.7%	4.9%	7.3%	11.7%	
8	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	0.3%	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	
9	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	81.8%	81.7%	82.7%	82.2%	84.3%	
10	繰越収支差額 構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	-58.1%	-63.1%	-60.0%	-58.9%	-57.1%	
11	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	111.5%	108.5%	104.5%	103.8%	102.2%	
12	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}+\text{固定負債}}$	96.7%	95.0%	92.8%	92.4%	91.9%	
13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	154.3%	168.9%	199.0%	192.7%	221.0%	
14	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	18.2%	18.3%	17.3%	17.8%	15.7%	
15	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	22.2%	22.4%	20.9%	21.6%	18.6%	
16	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	239.5%	274.5%	304.4%	291.6%	331.9%	
17	退職給与引当 特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	20.2%	15.8%	14.2%	13.6%	12.5%	
18	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	96.9%	100.1%	97.9%	98.2%	98.6%	
19	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額（図書を除く）}}{\text{減価償却資産取得価額（図書を除く）}}$	51.0%	53.2%	55.4%	57.3%	59.1%	
20	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	23.3%	24.7%	30.6%	33.9%	36.1%	

① 平成28年度からの「学校法人会計基準」に基づく貸借対照表を用いて、表に示された計算式により、比率を記載すること。

表5-5

要積立額に対する金融資産の状況（法人全体のもの）（過去5年間）

（単位：千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産
退職給与引当金	339,823	68,641	344,095	54,207	345,740	49,145	386,106	52,396	396,634	49,586
減価償却累計額	3,940,002	141,547	4,119,127	141,552	4,285,967	191,653	4,448,506	341,656	4,603,412	542,797
2号基本金引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3号基本金引当資産	124,245	124,245	125,003	125,003	129,660	129,660	130,635	130,635	131,609	131,609
4号基本金	104,000		104,000		104,000		104,000		104,000	
借入金	458,540		412,452		364,700		316,948		269,196	
未払金・割賦金	101,235		125,364		78,702		102,772		36,681	
その他引当特定資産		180,636		191,698		267,283		276,270		280,000
現金預金		510,098		615,373		810,619		869,842		831,600
有価証券		0		0		0		0		0
未収入金		20,084		73,948		30,536		56,882		24,087
計	5,067,845	1,045,251	5,230,041	1,201,781	5,308,769	1,478,896	5,488,967	1,727,681	5,541,532	1,859,679
総資産		6,436,421		6,425,779		6,546,926		6,658,185		6,694,979
総資産に対する金融資産の割合		16.2%		18.7%		22.6%		25.9%		27.8%
4号基本金に対する現金預金の割合		490.5%		591.7%		779.4%		836.4%		799.6%

学生生徒等納付金に係る学生数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
静岡英和学院大学	640人	644人	648人	738人	845人
静岡英和学院大学短期大学部	325人	299人	312人	305人	305人
静岡英和女学院高等学校	222人	221人	229人	247人	242人
静岡英和女学院中学校	210人	204人	205人	190人	199人
合計	1,397人	1,368人	1,394人	1,480人	1,591人

① 「学校法人会計基準」に基づく貸借対照表を参照して記載すること。

② 「学生生徒等納付金に係る学生数」の欄には大学及び大学院のほか、同一法人内の他の学校も含めて記載すること。